



森林セラピー通信
森のたより

雲南糖尿病サークルin I I S H I
6月1日、森のホテルもりのりで「雲南糖尿病サークルin I I S H I」が開催されました。



5班に分かれてセラピー体験へ

イドでもある三上飯南病院副院長にお話しいただきました。
日ごろ忙しい参加者の皆さんは、森の中でゆつくりとした至福の時間を過ごしていました。

博学講座 ……白い葉の秘密…

葉の陰にひっそり咲く花



またたびの葉

参加者は雲南圏域の医療従事者など42名。森林セラピーは、糖尿病などの生活習慣病や認知症予防に効果があることが実証されています。このことを踏まえて、セラピー体験前に「森林セラピーを薦める理由」と題して森林セラピーガ

6月から7月上旬、町内で車を走らせていると、あちらこちらに白い葉が。これは「またたび」の葉です。葉が白くなるのは、葉の陰に咲くかわいらしい花の存在を、花粉を運ぶ虫や鳥たちに知らせるため。受粉のお手伝いをしているのです。
この白い色はとても不思議で、葉の表面の薄皮が少し浮いていて光が反射しているだけで、葉自体に色が着いていないわけではありません。

俳句

琴峯華俳句会 六月例会作品抄

魚売り背の光る鯖売りにくる 安部 豊枝 土池 博子
雨意しきり梅雨の入りとも思はれし 石田シツカ 朽木 豊子
頭脳線弱りて悲し梅雨の空 垣内 良野 間隔を詰めても植へし余り笛 松平 富美子
今年の梅雨南の海を動かさる 佐々木康子 八嶋 敏江
六月のきれいな風や車椅子 田部智津子 くよしの火朝まで残る早梅雨 山崎智恵美
老鸞や句を生涯の友として 森 征子 この庭にこの風のあり柿若葉 八嶋 昭男

短歌

赤名短歌会 六月例会詠草

平和故に退位と皇位は成り果せる生前葬のごとく懐しき 澤田 勝登
安全な工事を祈りて水無月の風にゆめく緑十字の旗 本間 麗子
園庭に泥んこ遊びのこだませり湿度の重き梅雨空の下 島田 勝信
畑にいてヘリコプターのけたたまし不穏な想いに頭上を見上ぐ 門所 詠子
裏庭にいつしか広がる母子草「いつも思う」の花言葉あり 石田フクエ
アイリスの花いちもんめ咲きおきてたまには雨の降りてや来らむ 清原 豊明
たらちねの母見送りし歌友なり尽きせぬ想ひ咲き継ぐ花に 吉川 暎子
街角に立つ樟の木の声聴かむこの信号が青になるまで 澤田久美子
旧姓で呼び合ふ束の間の同窓会レイクラインは大橋渡る 星野 敦子

飯南町国道54号活性化アクションプラン推進協議会



スノーキャンドル

設立から10年を迎えた、国道54号活性化アクションプラン推進協議会。しかし、どんな目的で、どんな活動をしているのか知らない人も多いのでは？本協議会の取り組みを連載で紹介いたします。

■問合せ
国道54号活性化アクションプラン推進協議会
(い〜にやん人つなぎ協議会)
電話76・2864(地域振興課)

みんなで灯そう!イルミネーション企画

今年で6回目を迎えたスノーキャンドルイベント。町外でも注目を集めだし、近隣の市町の団体からも協力したいとの声が聞こえてくるようになりました。町内だけでなく、町外の団体と「道」「灯り」「つながり」をキーワードに連携していくことで、国道54号線の活性化にも繋がり、飯南町の地域力も上がると考えています。

そして、新たな取り組みとしてイルミネーションを企画しています。

お盆に志津見ダム上流公園に設置(8月10日(土)~18日(日))

現在、関係者と会場のレイアウトなどを大急ぎで調整しています。初めての試みとなるため、まずは綿密な計画をたて、安全に灯りが灯ることを第一に考えています。大規模にはならないかもしれませんが、夏の夜、お出かけの際にはお立ち寄りください!

また、一緒にイルミネーションを設置したいなど興味がある人は、お気軽にお問い合わせください。



灯りをつなぐる人と道

今日の人権標語

「家族でつくる人権標語」優秀作品から

「どげすうだ」
困った時は
助け合う

頓原小6年 森山 敬翔さん
家族名 森山 のぞみさん

標語に込められた思いを町民みんなで意識し、差別や偏見のない明るいまちづくりをめざしましょう。

すこやか

6月届出分

新生児 届出人 地区
岡田 絃之(頓原)
安部 朝陽(大翼(小田))

やすら

6月届出分

お名前 親族 地区
吉岡 一壽様 孝 (上来島)
渡部 幸子様 雅文(角井)
田村 朋子様 勲 (上来島)
中島 多津江様(94) 正博(上来島)

今日の表紙

特集の取材でお邪魔した明見さんご家族、夕食時の物語。

「ご飯が出来上がり、家族みんなでご飯が出来ます」と思いきや、一足先に食べ始める子どもたち。少し遅れてお父さんとお母さんも腰をかける。すると、会話が弾み、それぞれの顔には笑みがこぼれる。笑顔はご飯を引き立てる秘密の隠し味。最後は、家族みんなで「ごちそうさまでした」。

